

日本古文書学演習

選択 2単位

山下 須美礼

1. 授業の概要(ねらい)

本授業は、主に江戸から明治にかけての古文書を取り上げ、その読解を中心に、史料の探索・収集・整理・考察の方法を学ぶことを目的とする。前半は教員が用意する北東北諸藩領で書かれた幕末から明治初期の古文書を用いて読解を進め、後半は受講者が自らの調査・研究で入手したデータ等があればそれを用いる。人数次第で、輪読形式もしくは報告形式で演習を進める。

2. 授業の到達目標

受講者が自身の研究で古文書を史料として十分扱えるようになることを目標とする。

3. 成績評価の方法および基準

授業における報告・発言、研究に対する姿勢を総合的に判断する。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

授業内で提示する次のテキストを読み込み、疑問点や論点をまとめてくること。

6. その他履修上の注意事項

- ・日本近世・近代史に関心のある学生の受講が望ましい。
- ・児玉幸多編『くずし字解説辞典』や『くずし字用例辞典』（東京堂出版）が必要。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス(史料の紹介・授業の進め方・評価の仕方等)・報告順番決定
- 【第2回】 受講者各自の研究テーマについての報告
- 【第3回】 史料の収集・整理について学ぶ①
- 【第4回】 史料の収集・整理について学ぶ②
- 【第5回】 北東北諸藩の古文書の解読・議論①
- 【第6回】 北東北諸藩の古文書の解読・議論②
- 【第7回】 北東北諸藩の古文書の解読・議論③
- 【第8回】 北東北諸藩の古文書の解読・議論④
- 【第9回】 史料の翻刻作業について学ぶ①
- 【第10回】 史料の翻刻作業について学ぶ②
- 【第11回】 各自の研究テーマに沿った古文書の解読・議論①
- 【第12回】 各自の研究テーマに沿った古文書の解読・議論②
- 【第13回】 各自の研究テーマに沿った古文書の解読・議論③
- 【第14回】 各自の研究テーマに沿った古文書の解読・議論④
- 【第15回】 各自の研究テーマに沿った古文書の解読・議論⑤